

# 総合評価による人員構成一覧表

年 月 日 NO. 科 年 組

	1 バランスがよく 状況に応じた適度 な行動がとれる	2 バランスに多少のくずれは出るが、 おおむね状況に応じた適度な行動 がとれる	3 いくらかかたよった特徴はあるが、特に問題とするほど ではない	4 かたよった特徴があり、時に不適切な 行動が出やすい	5 かたよった特徴が強く、不適切な行動 が出やすい	6 著しくかたより、 なにかと不適切な 行動が目立つ	7 特に指摘したい
1 水準が高い	a ā	a ~ af	af	af ~ fa	fa	fp	
2 不足はない	a ā	a ~ af	af	af ~ fa	fa	fp	
3 いくらか不足	b	b	bf	bf ~ fb	fb	fp	
4 かなり不足	c	c	cf	cf	fc	fp	
5 はなはだ しく不足				d	dp		d
6 特に指摘 したい	<p><b>判定不能</b> 検査のやり方に不備があるため、結果をお出しすることができません。</p>					fp	
	<p><b>マルバツ法</b> 判定基準が異なるため人員構成の分類はできません。</p>						

特に問題なし
  学習の遅れと適応や行動両方に注意

学習の遅れに注意
  適応・行動・学習の遅れ・能力・態度に要注意

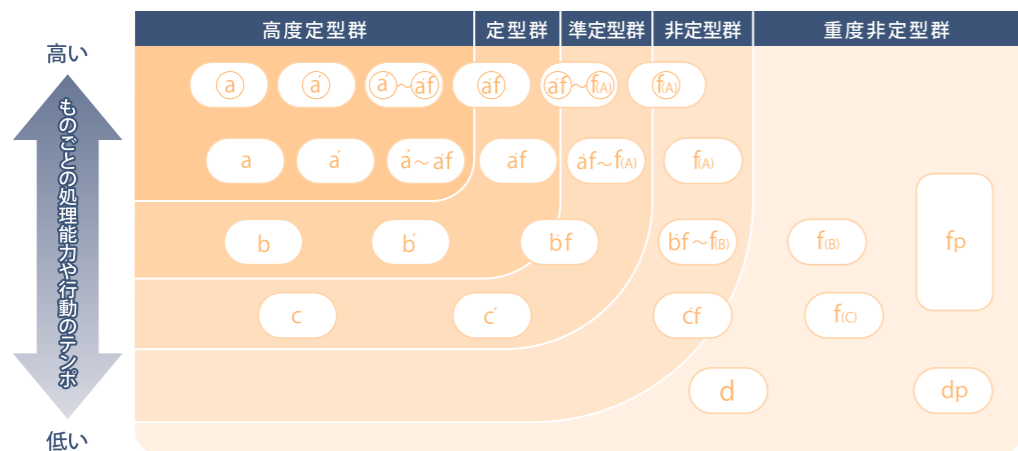
適応や行動に注意

\*上の5グループは、総合評価の高度定型～重度非定型の5群とは分類の仕方が違っています。  
 上の5グループは学校現場の中で「気になる生徒」という視点からとらえ直したものです。  
 UKからみて「気になる生徒」は   に名前のある生徒です。

報告票 先生用

No. 科 年 組 番 氏名

1 能力や性格・行動などの総合傾向 日常行動にあらわれやすい特徴を次の二つの面から示します。



総合傾向コメント

独自性が強まる(個性・かたより・くせがあらわれやすい)

2 性格や行動などの基本パターン

総合傾向では、性格や行動面について、個性のあらわれ方(独自性~かたより・くせ)を程度として示しました。ここでは、個性として出やすい特徴を右記の三特性の組み合わせ(過不足など)で示しています。不特定の欄に印がある場合は、変調状態などがあるため、具体的特徴を指摘しにくいことを意味します。

Form with three rows of characteristics: '発動性' (Activation), '可変性' (Variability), and '亢進性' (Excitability). Each row has four buttons: '過度' (Excessive), '中程度' (Moderate), '不足' (Deficient), and '不特定' (Indeterminate). Below each row is a section for 'ものごとへの取りかかり' (Approach to things), 'ものごとを進めるにあたっての気分や行動の変化' (Changes in mood/action when proceeding), and 'ものごとを進めていく上での強さや勢い' (Strength/momentum when proceeding).

基本パターンコメント

3 性格や行動などの注意したい特徴(特異傾向)

強いかたよりや不適切な行動につながりやすい傾向または状態です。検査時の一時的な心身状態を反映している場合もあります。

Text area for notes on specific characteristics.

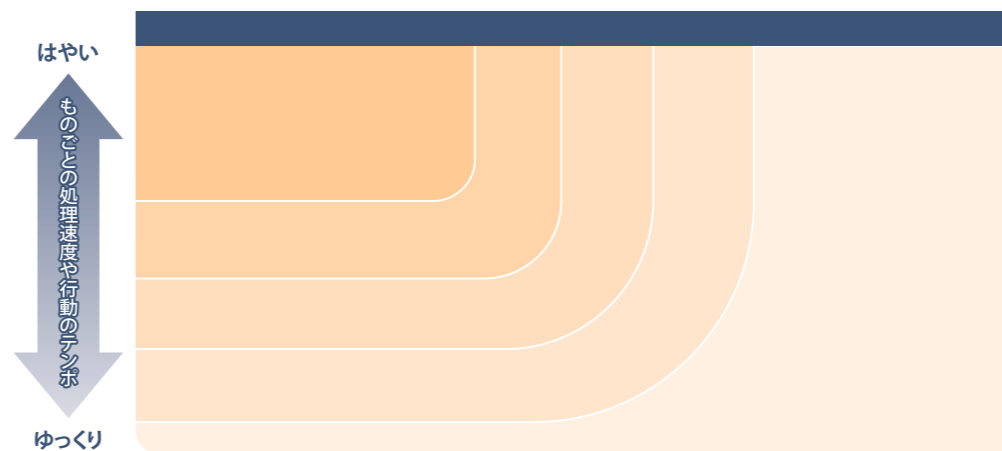
備考

ご不明な点は下記までご連絡ください。

報告票 生徒用

No. 科 年 組 番 氏名

1 日常行動にあらわれやすい特徴を下の表で示し、コメントします。



総合傾向コメント

独自性が強まる(個性・くせがあらわれやすい)

2 性格や行動などの基本的パターン

ここでは、個性としてあらわれやすい特徴を基本的パターンで示します。検査時の受検態度や体調によっては、具体的特徴がとらえにくくなります。その場合は「どちらでもない」に印がつけます。

Form with three rows of characteristics: 'ものごとへの取りかかり' (Approach to things), 'ものごとを進めるにあたっての気分や行動の変化' (Changes in mood/action when proceeding), and 'ものごとを進めていく上での強さや勢い' (Strength/momentum when proceeding). Each row has four buttons: 'はやい' (Fast), 'ちょうどよい' (Just right), 'ゆっくり' (Slow), and 'どちらでもない' (Neither). Below each row is a section for 'ものごとへの取りかかり', 'ものごとを進めるにあたっての気分や行動の変化', and 'ものごとを進めていく上での強さや勢い'.

基本パターンコメント

3 性格や行動などの注意したい特徴

場面や状況によっては不都合になりやすい特徴です。心身状態の一時的な乱れからあらわれてしまうこともあります。検査時のコンディションを確かめてください。

Text area for notes on specific characteristics.

検査状況や受検態度、体調によっては本来と異なった結果が出る場合があります。

# 判定結果 報告表

年 月 日 NO. 科 年 組

番号	氏名	曲線類型	総合評価					総合評価の意味							特性コード			特異傾向 (*やや問題あり **問題あり)																
			1 高度定型群	2 定型群	3 準定型群	4 非定型群	5 重度非定型群	ものごとの処理能力 や速度などの傾向						性格や行動面でのバランスや かたよりの程度							発動性	可変性	亢進性	1 抑制作用の減退	2 気持ちや動作の 一時的な停滞	3 気持ちや動作の 一時的なたかぶり	4 情意の不安定	5 感動性の不足	6 反発・不熱心	7 発動(とりかかり)の 障害	8 気力の衰弱	9 あせりによる変調	10 りきみすぎによる 変調	11 固執(こだわり)傾向
								1 水準が高い	2 不足はない	3 いくらか不足	4 かなり不足	5 はなはだしく不足	6 特に指摘したい	1 適度を行動がとれる バランスがよく、状況に応じた	2 おおむね状況に応じた適度を行動がとれる バランスに多少のくずれは出るが、	3 いくらかかたよった特徴はあるが、 特に問題とするほどではない	4 かたよった特徴があり、時に 不適切な行動が出やすい	5 かたよった特徴が強く、不適切な 行動が出やすい	6 著しくかたより、なにかと不適切な 行動が目立つ	7 特に指摘したい														
SAMPLE																																		

# 集計表一覧 ( )

年 月 日 NO. 科 年 組

## 1. 総合評価集計表

	性格や行動面でのバランスやかたよりの程度							合計
	1	2	3	4	5	6	7	
	バランスがよく、状況に応じた適度な行動がとれる	バランスに多少のくずれは出るが、おおむね状況に応じた適度な行動がとれる	いくらかかたよった特徴はあるが、特に問題とするほどではない	かたよった特徴があり、時に不適切な行動が出やすい	かたよった特徴が強く、不適切な行動が出やすい	著しくかたより、なにかと不適切な行動が目立つ	特に指摘しがたい	
ものごとの処理能力や速度などの傾向	水準が高い	人 %	人 %	人 %	人 %	人 %	人 %	人 %
	不足はない	人 %	人 %	人 %	人 %	人 %	人 %	人 %
	いくらか不足	人 %	人 %	人 %	人 %	人 %	人 %	人 %
	かなり不足	人 %	人 %	人 %	人 %	人 %	人 %	人 %
	はなはだしく不足				人 %	人 %	人 %	人 %
	特に指摘しがたい					人 %		人 %
	合計	人 %	人 %	人 %	人 %	人 %	人 %	人 %

## 2. 特性コード(発動性・可変性・亢進性)集計表

666	656	646	665	655	645	664	654	644
人	人	人	人	人	人	人	人	人
%	%	%	%	%	%	%	%	%
566	556	546	565	555	545	564	554	544
人	人	人	人	人	人	人	人	人
%	%	%	%	%	%	%	%	%
466	456	446	465	455	445	464	454	444
人	人	人	人	人	人	人	人	人
%	%	%	%	%	%	%	%	%
不特定								
人								
%								

## 3. 総合評価(曲線類型10群別)集計グラフ

5群別	10群別	曲線類型	%			
			20%	40%	60%	80%
高度定型群	第1群	Ⓐ a	%			
		Ⓐ ā	%			
定型群	第2群	Ⓐ~Ⓐf	%			
		ā~āf	%			
準定型群	第3群	Ⓐf af	%			
		b b	%			
非定型群	第4群	Ⓐf~Ⓐ(A)	%			
		āf~ā(A)	%			
重度非定型群	第5群	b f	%			
		c c	%			
非定型群	第6群	Ⓐ(A) f(A)	%			
	第7群	b f~b(B)	%			
重度非定型群		c f	%			
	第8群	f(B) f(C)	%			
非定型群	第9群	f p	%			
	第10群	d dp	%			

## 4. 作業量級集計グラフ

作業量級	%			
	20%	40%	60%	80%
1 水準が高い	%			
2 不足はない	%			
3 いくらか不足	%			
4 かなり不足	%			
5 はなはだしく不足	%			
6 特に指摘しがたい	%			